

デバイスリモートコントロールの編集方法（「キーボードショートカットの編集」を使用）

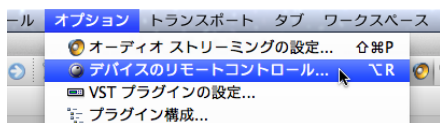
WaveLab 7.2 は、Steinberg ハードウェア CMC シリーズ、CI シリーズ、CC121 をはじめとする MIDI デバイスでのリモートコントロールに対応しました。

コンピュータに Steinberg ハードウェアを接続して、WaveLab を起動すると特別な設定を行うことなくハードウェアを認識してリモートコントロールが可能となります（WaveLab がハードウェアを認識しない場合は、FAQ「WaveLab が Steinberg ハードウェアを認識しません」をご参照ください）。

WaveLab のリモートコントロール機能は設定の自由度が高く、ハードウェアへの WaveLab アクションのアサインを自由に変更することができます。ここでは、CMC-AI の[F4]ボタンにすでにアサインされているアクション「前のワークスペースに切り替える」を削除して「マーカー作成」のショートカットコマンドをアサインする方法をご説明いたします。

1. デバイスリモートコントロール画面を開きます。

「オプション」メニューの「デバイスのリモートコントロール」を選択してください。



「デバイスをリモートコントロール」画面が表示されます。

2. 各デバイスの編集画面を選択します。

「デバイスをリモートコントロール」画面の上にあるプルダウンメニューをクリックして表示されるリストから、「MIDI コントロール デバイス」の#1～#10 を選択して、CMC-AI 用のデバイス編集画面を選択します。

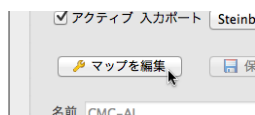
編集画面の「名前」欄または「名称」欄に「CMC-AI」と表示されるまで「MIDI コントロール デバイス」の#1～#10 を選択してください。



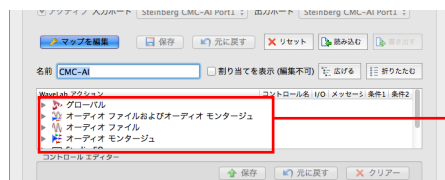
「名前」欄または「名称」欄に「CMC-AI」と表示されるまで「MIDI コントロール デバイス」の#1～#10 を選択

3. 編集リストを表示します。

ハードウェアの編集画面が表示されましたら、「マップを編集」ボタンをクリックしてください。



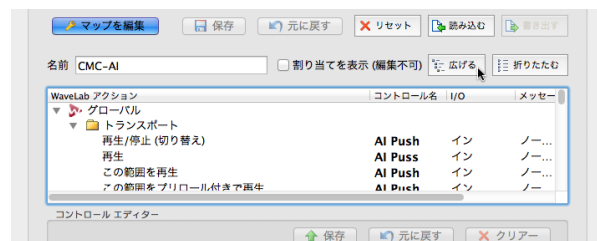
グレースアウトしていたアクションリストが編集可能な状態になります。



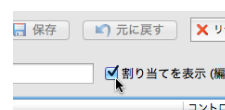
編集可能な状態のアクションリスト

4. 編集リスト内で編集したいアクションを選択します。

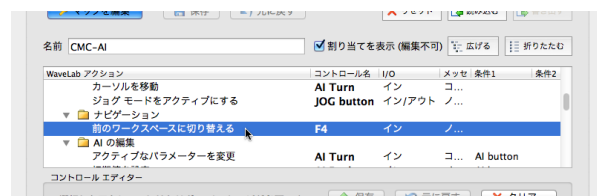
「広げる」ボタンを使用することで、全てのアクションを表示することができます。



「割り当てを表示」にチェックを入れると、CMC-AI にアサインしているアクションのみ表示します。

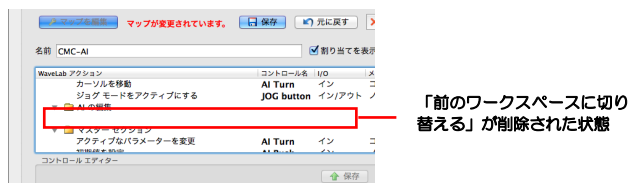
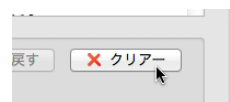


アクションリストから「前のワークスペースに切り替える」を選択してください。



5. アサインされているアクションを削除します。

「クリア」ボタンをクリックして選択しているアクションを削除してください。



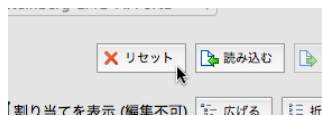
「前のワークスペースに切り替える」が削除された状態

6. 編集した内容を保存します。

「保存ボタン」をクリックしてください。



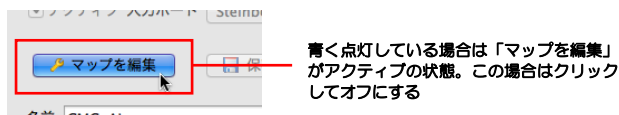
Tips: アクションリストを初期設定に戻す場合は、「リセット」ボタンをクリックしてください。



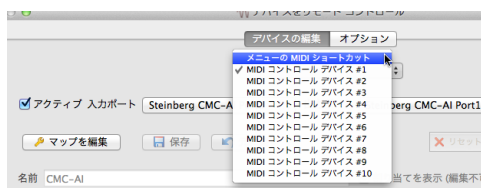
7. ショートカットをハードウェアの操作子にアサインする準備をします。

(アクションのアサインは現在表示している「デバイスをリモートコントロール」で行い、ショートカットコマンドのアサインは「キーボードショートカットの編集」で行います。ショートカットコマンド「マーカー作成」の設定は「キーボードショートカットの編集」で行います)
「キーボードショートカットの編集」画面のコマンドをハードウェアの操作子にアサインするためには、下記準備を行ってください。

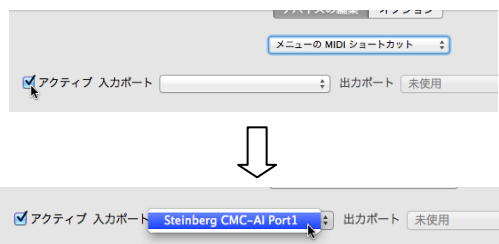
「マップを編集」がアクティブになっている場合はクリックしてオフにしてください。



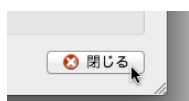
「デバイスをリモートコントロール」画面の上にあるプルダウンメニューをクリックして表示されるリストから、「メニューの MIDI ショートカット」を選択してください。



「アクティブ」をクリックしてチェックを入れた後、「入力ポート」をクリックして表示されるプルダウンメニューから「Steinberg CMC-AI Port 1」を選択してください。



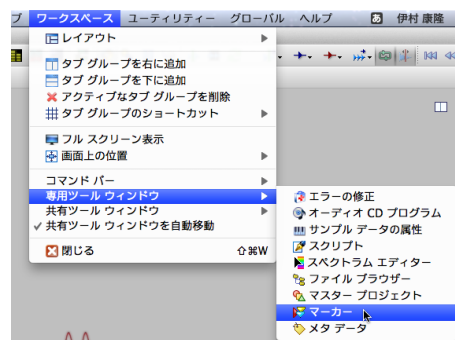
以上で「キーボードショートカットの編集」画面のコマンドをハードウェアの操作子にアサインする準備が完了しました。「閉じる」ボタンを押して「デバイスをリモートコントロール」画面を閉じてください。



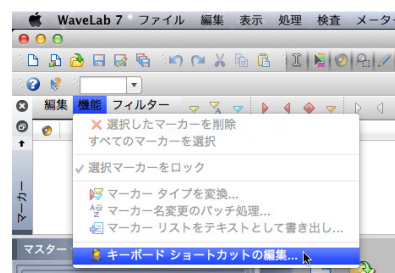
8. ショートカットコマンドをハードウェアの操作子にアサインします。

マーカーツールウィンドウが表示されていない場合、「ワークスペース」メニューの「専用ツールウィンドウ」で「マーカー」

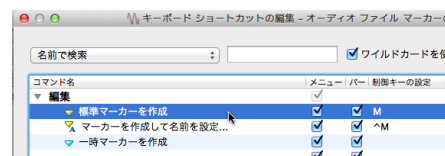
を選択してマーカーツールウィンドウを表示してください。



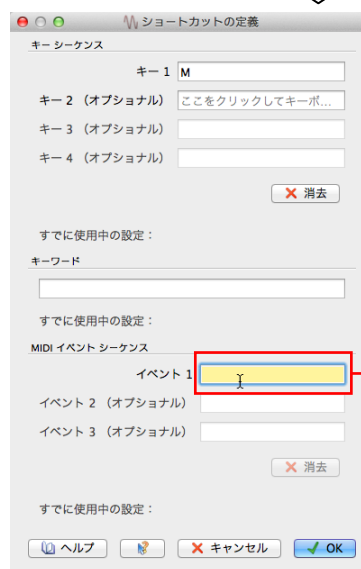
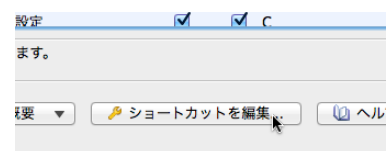
マーカーツールウィンドウの「機能」メニューから「キーボードショートカットの編集」を選択してください。



表示された画面で「標準マーカーを作成」を選択してください。



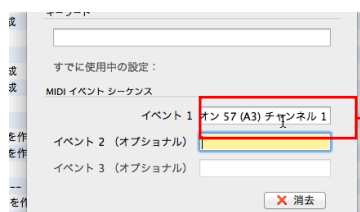
画面下にある「ショートカットを編集」ボタンを押して表示される画面で、「イベント 1」の設定欄をクリックしてラン機能をオンにします。



CMC-AI の[F4]ボタンを押して、WaveLab にハードウェアの操作子を認識させてください。

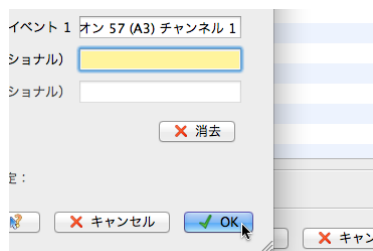
ショートカットコマンドがアサインされます。

WaveLab がハードウェアの操作子を認識すると「イベント 1」の設定欄に「ノートオン 57(A3)チャンネル 1」と表示されます。

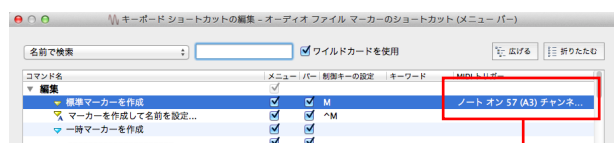


「イベント 1」の設定欄に「ノートオン 57(A3)チャンネル 1」と表示

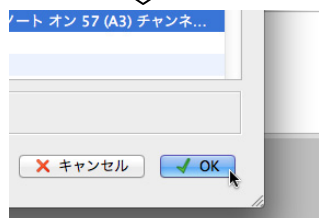
「OK」ボタンをクリックして「ショートカットの定義」画面を閉じてください。



「キーボードショートカットの編集」画面で「標準マーカーを作成」の「MIDI トリガー」欄に「ノートオン 57(A3)チャンネル 1」がアサインされていることを確認して「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じてください。



「MIDI トリガー」欄に「ノートオン 57(A3)チャンネル 1」がアサインされていることを確認



以上の設定で CMC-AI の[F4]ボタンに「マーカー作成」のシ